

「科学的介護」あってこそ特養復権！ ～21世紀委員会がつくる「新たな福祉」～

平成23年度北海道ブロックカンントリーミーティング (in 札幌)

【開催趣旨】

東日本大震災復興の道のりは、まさに「21世紀日本」の在り方を問うものです。少子高齢・人口減少社会、国家的財政難の我が国にあって、高齢者福祉においては、脱施設・在宅シフトの集大成である「地域包括ケアシステム」が進められています。理念先行、費用対効果無視の施策推進に対し、今こそ現場発信による特養復権、利用者ニーズに根差した制度づくりが必要です。

特養ホームをはじめとする高齢者福祉施設が、地域社会の中核として機能するためには、科学的介護の実践によって新たな介護・福祉サービスを構築するとともに、効率的な「収支差額管理」によってガバナンスを発揮し、10年先戦略を確立しなければなりません。

11年間に渡って現場の声を集め続けてきた「21世紀委員会・カンントリーミーティング」は、東日本大震災復興支援において改めて知ることとなった「老施協の絆」を糧に、2025年に向けた「新たな福祉」構築の経営戦略と制度づくりへの現場発信を行う場として期待されています。

経営管理、介護現場の若手リーダーの皆さんの現場の声をお待ちいたします。

☆新たな福祉をつくる、21世紀委員会「5つの挑戦」！

- ①「科学的介護」(認知症ケア・口腔ケア・リハ・おむつゼロ・負担の少ない介護・看取り etc)の実践
- ②特養ホーム 20万床の緊急整備を実現し、待機者解消を図る！
- ③低所得者、社会的弱者の生活権をまもり、「養護復権」、補足給付の堅持を！
- ④科学的介護を担う「現場人材」、そして地域戦略を担う「経営管理人材」をつくる
- ⑤供給体改革を担えるか社会福祉法人 — 「収支差額管理」によるガバナンスの発揮を！

1. 主催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
北海道老人福祉施設協議会・北海道デイサービスセンター協議会
2. 企画運営 全国老施協21世紀委員会・北海道老施協21世紀委員会
3. と き 平成23年10月20日(木)～ 21日(金)
4. と ころ 札幌市／札幌プリンスホテル 国際館パミール
(札幌市中央区南2条西11丁目 TEL:011-241-1111)
5. 参加定員 200名
6. 参加対象者 若手経営・管理者、介護チーフ、ソーシャルワーカー、看護職員、栄養士等の北海道ブロック内高齢者福祉施設に勤務するもの
7. 申込締切 10月 7日(金)必着

8. カントリーミーティング参加費 10,000 円(道老施協・道デイ協会員)、13,000 円(非会員)

※参加費には、カントリーセッション(交流会)代も含まれており、原則全員参加となります。

※参加費については、大会当日受付においてお支払願います。

※領収書については、参加費(会員 5,000 円、非会員 8,000 円)とカントリーセッション(5,000 円)を分けてお出しいたします。

9. 日程

《1日目》

12:00	13:00	13:10	13:40	14:20	14:40	17:30	17:45	19:30
受付	開会	全体会		移動 休憩	分科会	休憩	カントリー セッション (交流会)	
		基調 報告	課題 提起		グループディスカッション			

《2日目》

9:00	10:00	10:10	11:40	11:50
全体会				閉 会
シンポジウム及び 総合ディスカッション	休憩	特別講演 ※北海道独自企画		

10. プログラム

第1日目〔10月20日(木)〕

① 開会式(13:00～13:10)

② 基調報告(13:10～13:40)

○公益社団法人全国老人福祉施設協議会会長より情勢報告と問題提起を行います。

③ 課題提起(13:40～14:20)

○公益社団法人全国老人福祉施設協議会役員から課題提起を行います
【経営・介護の分野から報告(一人20分)】

④ 分科会(14:40～17:30)

ア) 経営・介護の分科会に分かれ、グループディスカッションを行います。

・全体会の基調報告と課題提起、また事前に参加者より頂いたアンケートを元に議論を展開します。

イ) 各分科会の進行(司会・記録等)については、北海道老人福祉施設協議会21世紀委員が中心となり進めます。

経営分科会 地域に生きる、地域を支える事業展開・経営戦略

《経営1分科会》……特別養護老人ホーム職員向け

《経営2分科会》……養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・デイサービス職員向け

東日本大震災は、地域社会が壊滅的な打撃を被る中で、高齢者福祉施設とそこに従事する専門集団が大きな支えとなったことを改めて確認することとなりました。

要援護・要介護者の生活をまもる「地域介護力」の中核として、「地域包括ケアシステム」がめざす脱施設・在宅偏重へのアンチテーゼとして、科学的介護の実践と新たな福祉を構築する経営戦略構築の場とします。

(1) H24 介護保険制度改正・介護報酬改定に向けて

○24 時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス、サービス付き高齢者向け住宅など新たな施策をどうとらえるか？ —— 待機者解消に向けた地域の介護力向上を考える。

①新たなサービスの課題と展望

…特養等の施設経営法人として居宅系サービスを積極的に展開する場合の戦略的意味と課題

②特養入所待機者の実態を踏まえた経営戦略

…地域における特養整備の展望(第5期・6期に向けて)

(2) 地域の介護力を支える社会福祉法人・高齢者福祉施設の在り方

○地域の中核として機能するための、施設完結型サービスへの挑戦・科学的介護の確立と、それらの事業を担う「経営管理人材」・高品質介護を担う「現場人材」の育成と確保

○留保金の貯め込みに終始せず、事業拡大・アメニティ追求をすすめ、利用者には選ばれる社会福祉法人として供給体改革を担う

①科学的介護を担う人材の確保・育成

…介護・看護・ケアマネジャー・管理栄養士等のリーダー育成

②非課税優遇措置を受ける社会福祉法人の使命

…制度内事業体として適正な利益管理とその活用

…社会福祉法人の利用者負担軽減制度の拡充、「無料・低額事業の実施」(例:第2種老健施設)

(3) 低所得者対応・生活困難者救済と社会福祉法人の役割

○低所得者・社会的弱者の生活権をまもる「養護復権」「軽費・ケアハウス新戦略」

…社会福祉法人の使命と経営戦略

①「居住型施設サービス」の展開(動向) と養護・軽費・ケアハウスの戦略を考える

②低所得者・社会的不適合など援助を必要とする高齢者への対応

…社会福祉法人の利用者負担軽減制度の拡充、「無料・低額事業の実施」(例:第2種老健施設)

介護分科会 地域にアピールする「我が施設のサービス」

《介護1分科会》……………特別養護老人ホーム職員向け

《介護2分科会》……………養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・デイサービス職員向け

喀痰吸引など生活関連医行為が介護福祉士の「業務」に位置づけられることとなりました。在宅介護重視、地域包括ケアシステムの進行は、特養ホームの重度化をますます顕著にしています。

「地域全体を特養化」(地域包括ケアシステム)とは、介護・医療・生活援助機能を全て外付けにし、特養を居住の一形態にしようとするものです。今こそ私たちの専門的、科学的根拠に基づく介護実践を確立し、地域の介護力向上の中核を担う特養ホーム・法人を目指そうではありませんか。

(1) 認知症ケア…医療との連携を考える

①原因疾患別に対応した治療とケア

…認知症医療の進歩、新薬の効能など医療と連携した認知症ケアの確立

②認知症ケアの困難事例から、検証する

(2) おむつゼロから胃ろうゼロへ～個別ケアの実践として

① 日中おむつゼロへの挑戦

…「介護力向上講習会」に学んでの実践状況

②「口からの食事」がなぜ大切なのか

(3) 利用者に優しく、職員の「疲れない介護」を考える～職場環境、業務改善

①重度化、個室化のなかで、「疲れない介護」とは何か？

…移動介助(トランスファーテクニック)、介護機器、ロボット等の活用

②職員の労働環境の改善を考える

…利用者に優しい、働きやすい(疲れない)職場環境を考える

☆科学的介護…医療・看護・栄養学等の科学的エビデンスに基づく介護実践をめざす。

認知症ケア、口腔ケア、リハビリ、排泄ケア、看取りケアなどの専門的確立をはかる。

⑤ カントリーセッション(17:45～19:30)

1日目のプログラム終了後、全国老施協役員やまたは参加者同士の情報交換・ネットワークづくりを図る場として、情報交換会を設定しております。費用は参加費に含まれておりますので、必ずご参加ください。

第2日目[10月21日(金)]

⑥ シンポジウム及び総合ディスカッション(9:00～10:00)

前日の分科会の報告を中心に、全国老施協役員・北海道老施協21世紀委員とともにシンポジウム形式にて意見交換または質疑応答を行います。

⑦特別講演【ブロック独自企画】(10:10～11:40)

「おもてなしの心とは～一流ホテルの極意を学ぶ～」

講師：鈴木 忠男 氏 (グランドプリンスホテル高輪 スーパーバイザー)

【講師略歴】

株式会社プリンスホテル入社後、白金迎賓館に配属、大阪万博では 44 カ国の皇族や国家元首の接遇を任される。高輪プリンスホテルに異動後は宴会部門に従事しながら、東京サミットや昭和天皇崩御、平成天皇即位や立太子の礼などに伴う国賓への接遇を担当。その豊富なサービス経験と深いホスピタリティー精神から全国宴会支配人協議会(BMC)会長等を歴任、現在に至る。

⑧ 閉会式(11:40～11:50)

11. 分科会討議のための事前アンケートの提出について

参加者の方は別紙申込書・事前アンケートを御記入の上、10月7日(金)必着で北海道老施協事務局に提出してください。

[申し込み・問合せ先]

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター

TEL:011-241-3766 FAX:011-280-3162

事務局:北海道社会福祉協議会 施設経営支援部施設福祉課(担当:山崎・市川)

会場までの交通アクセス

